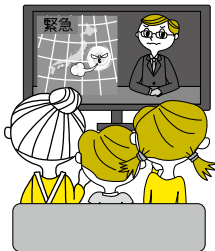


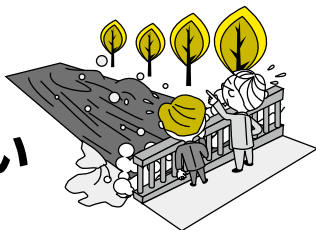
おおあめ こうずい たいふう み まも
大雨・洪水・台風から身を守ろう

おおあめ こうずい じ ひなん ところ え
大雨・洪水時の避難の心得

あめ ふ だ
雨が降り出したら、
きしょうじょうほう
気象情報と
かせんじょうほう ちゅうい
河川情報に注意する

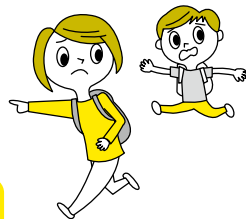


そと で
むやみに外に出ず、
かわ うみ やま やがけの ちか
川や海、山やがけの近くなどの
きけん ばしょ ちかよ
危険な場所に近寄らない



危険なので川や用水路の様子を見に行かないようにしましょう。

ひなんじょうほう で
避難情報が出たら、
すみやかに ひなん
すみやかに避難する



近くの川があふれそうな場合は、早めに避難しよう。

こうれいしゃ からだ ふじゆう かた
高齢者・身体の不自由な方が
ばあい
いる場合は
はや ひなん
早めに避難する



ひなん さい
避難の際は、
はきもの あしもと ちゅうい
履物や足元に注意する

- 長靴は水が入ると動きにくくなるため、スニーカーを履く。
- にごった水で足元が見えないため、マンホールや水路に落下しないよう、長い棒やストックで足元を確認しながら歩く。

ふたがはずれたマンホール・側溝に転落して、死亡した事例も！

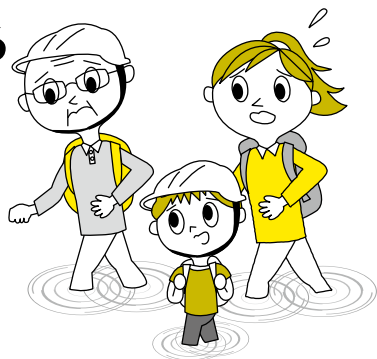


大雨・洪水・台風から身を守ろう

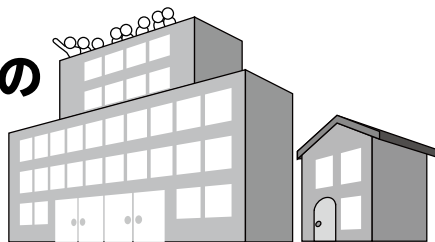
大雨・洪水時の避難の心得

避難の際は、
水の深さに注意する

- 20cm～50cmの水の深さがあると歩くことも難しい。
- 避難が難しい場合は、無理をせず、救援を待つ。



避難が難しい場合は、
自宅や近くの建物の
2階より上へ



夜間に降り出した雨などで避難が遅れた場合も、屋内で安全を確保しよう。

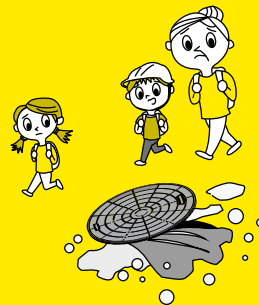
豆知識：洪水の種類

大雨や台風によって引き起こされる洪水被害。洪水には、大きく2つのはん濫がある。

- 下水道などから水があふれて起こる「内水はん濫」
- 河川が増水し堤防からあふれ出る「外水はん濫」



〔内水はん濫〕



下水道などの排水能力を超える大雨が降った場合に発生し、最近では局地的大雨によってその被害件数は増加傾向にある。

〔外水はん濫〕



水位が「避難判断水位」や「はん濫危険水位」を超えるおそれがある場合は、はん濫警戒情報が発表される。

おおめ こうずい たいふう み まも
大雨・洪水・台風から身を守ろう

たいふう ひなん ところ え
台風からの避難の心得

たいふうじょうほう
**台風情報をこまめに
確認する**



と飛ばされそうなものは、
自宅の中に入れるか、
固定する



ぼうふう 物が飛んでくる危険が！
屋外での活動は避ける



外にいるときは、
近くの建物の中に
避難する



台風の際には、大雨・洪水時の
避難の心得も大事だよ。

豆知識：満潮時は高潮が危険

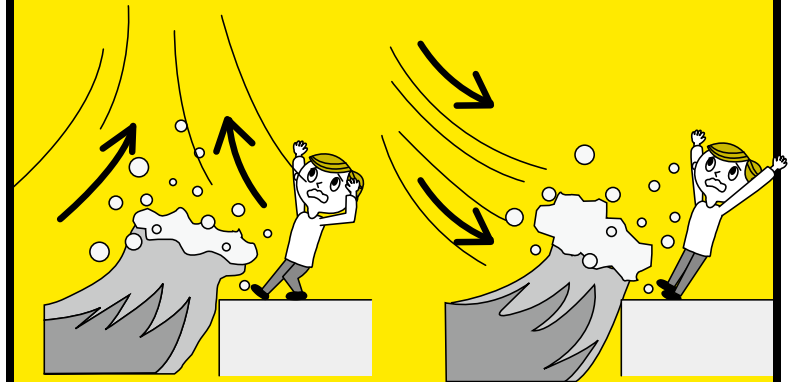
台風と満潮が重なると、海面が異常に
上昇して高潮が発生する。



2004年には、瀬戸内海沿岸を中心に

約17万棟の浸水被害が発生しているんだ。

〔高潮が発生するしくみ〕



気圧の低下によって海面が
吸い上げられ発生する。

強風によって海水が海岸に
吹き寄せられ発生する。